

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【公表番号】特表2013-517776(P2013-517776A)

【公表日】平成25年5月20日(2013.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2013-025

【出願番号】特願2012-550188(P2012-550188)

【国際特許分類】

C 12 N 5/02 (2006.01)

【F I】

C 12 N 5/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月28日(2013.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細胞培地中で増殖する細胞の細胞増殖を高める方法であって、

前記方法は、

前記細胞培地に、組み換えアルブミンを含む補足物を追加する工程を含み、

前記組み換えアルブミンは植物中で生成され、

前記補足物は約1E Uエンドトキシン/1mgアルブミン未満を有し、および、

前記アルブミンは約2%未満の凝集アルブミンを含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

無血清培地に適応させた細胞の生産性を高めるための方法であって、

前記方法は、

前記無血清培地に、組み換えアルブミンを含む補足物を追加する工程を含み、

前記組み換えアルブミンは植物中で生成され、

前記補足物は約1E Uエンドトキシン/1mgアルブミン未満を有し、および、

前記アルブミンは約2%未満の凝集アルブミンを含むことを特徴とする方法。

【請求項3】

前記細胞は組織培養細胞であることを特徴とする請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

前記細胞は、CHO細胞、ハイブリドーマ細胞、ベロ細胞、またはプライマリー細胞からなる群から選択されることを特徴とする請求項1又は2に記載の方法。

【請求項5】

前記プライマリー細胞は幹細胞であることを特徴とする請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記プライマリー細胞はB細胞由来であることを特徴とする請求項4に記載の方法。

【請求項7】

前記プライマリー細胞はB細胞であることを特徴とする請求項4に記載の方法。

【請求項8】

前記プライマリー細胞はT細胞由来であることを特徴とする請求項4に記載の方法。

【請求項9】

前記プライマリー細胞はT細胞であることを特徴とする請求項4に記載の方法。

【請求項 10】

前記補足物は熱ショックタンパク質の少なくとも約0.01%wt / wtを含むことを特徴とする請求項1又は2に記載の方法。

【請求項 11】

前記熱ショックタンパク質はイネの熱ショックタンパク質であることを特徴とする請求項10に記載の方法。

【請求項 12】

前記イネの熱ショックタンパク質は、イネHSP70とイネの胚乳腔の結合タンパク質とからなる群から選択されることを特徴とする請求項11に記載の方法。

【請求項 13】

前記イネの熱ショックタンパク質は、イネ(gb|ACJ54890.1|)、EEC69073/OsI_37938、および、AAB63469からなる群から選択されることを特徴とする請求項11に記載の方法。

【請求項 14】

前記補足物は少なくとも約0.01%wt / wt HSP70、少なくとも約0.04%wt / wt HSP70、少なくとも約0.06%wt / wt HSP70、少なくとも約0.08%wt / wt HSP70、または少なくとも約0.1%wt / wt HSP70を含むことを特徴とする請求項12に記載の方法。

【請求項 15】

前記組み換えアルブミンは、約100mg / Lと約200mg / Lの間、約200mg / Lと約400mg / Lの間、約400mg / Lと約600mg / Lの間、約600mg / Lと約800mg / Lの間、約800mg / Lと約1000mg / Lの間、約1000mg / Lと約2000mg / Lの間、約2000mg / Lと約5000mg / Lの間、約5000mg / Lと約10000mg / Lの間、または約10000mg / Lと約20000mg / Lの間の最終濃度になるまで加えられることを特徴とする請求項1又は2に記載の方法。